



長崎青年協会憲章

我々は全員の団結と

相互扶助の精神の基に

自己の建設と

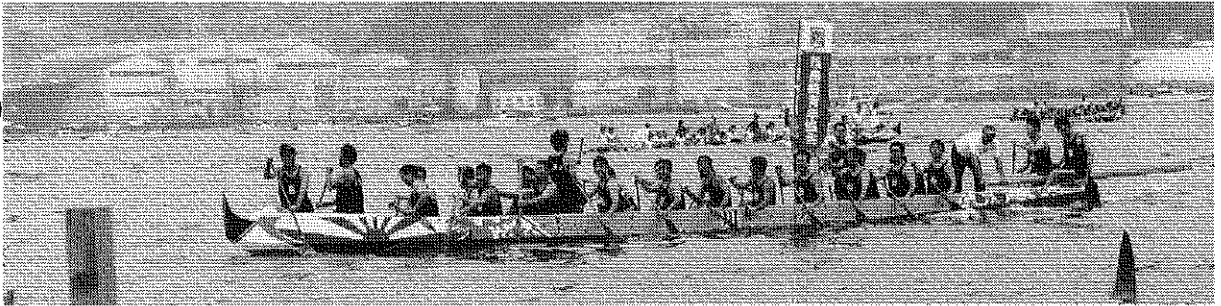
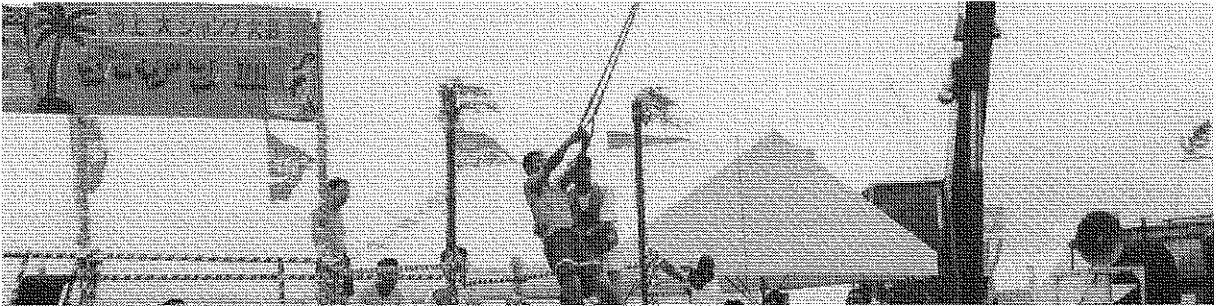
会員の親睦を図り

もって地域社会の発展に
寄与することを目的とする

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団法人 長崎青年協会

スローガン 「グローバルに考えて、ローカルに行動しよう」



今月の行事

- | | |
|-----------|-------------|
| 8月5日 理事会 | 8月19日 総務室会議 |
| 7日 事業室会議 | 25日 役員会 |
| 8日 会員室会議 | 30~31日 全体研修 |
| 18日 企画室会議 | |

NYA press no.217
August 1997

8

発行 長崎市魚の町7-7
(社)長崎青年協会
会長 川原哲也
編集 広報委員長 松尾浩

会長挨拶

会長 川原 哲也



皆さん、こんにちは、梅雨の鬱陶しい日々も終わり暑い夏の季節となりました。さて、7月20～21日と福田のサンセットマリーナに於いて「サマーキャンプ'97」が行なわれました。子供達も夏休みの楽しい思い出の一日となったことと思います。この素晴らしい成果の影には、会員の皆様の協力があつた事に他なりません。しかしながらそれにもまして担当の社会福祉委員会の日々の努力と熱意が他の会員に伝わつたのは確かです。

7月27～28日にいよいよ「ながさきみなとまつり」が行なわれます。この事業が成功するもしないも、皆様の熱意が必要不可欠です。頑張つて協力してあげて下さい。

さて、本日の講師は中華人民共和国駐長崎総領事館、総領事の曾文彬氏です。演題は「香港返還～その後の中国と長崎～」という内容です。時期的にもタイムリーで興味深いものですので会員の皆様、良く聞いておいて下さい。それでは講師の先生宜しくお願いします。

『7月定時例会開催』

日時：7月22日（火）

於：ホテルニュー長崎



曾文彬氏

7月22日（火）ホテルニュー長崎に於いて7月定時例会が行なわれました。会長挨拶の後、講師講演が始まり今回は、中華人民共和国駐長崎総領事館の総領事 曾文彬氏が、ご夫婦で来場され「香港返還～その後の中国と長崎」という演題について、講演がありました。

お話の内容と致しまして、香港返還に至るまでの中国の国際的な動向、返還後の香港の姿、現在の中国の内政的な実情、日中友好のありかたなど熱のこもつた話が聞けました。特に総領事は日中友好については、話に熱がこもり、尖閣諸島問題や戦後問題などに民間レベルでも、この問題について慎重な理解を求めてほしい。軽率な行動や言動は控えてほしいと講演されました。

中国は現在、人口は12億まで増加し、内政的にもGNPが毎年10%近く上昇するなど、先進国にせまるまで急速に発展しているそうです。その中で、長崎は上海など友好都市があり、21世紀発展しつづける中国を身近に感じ、これからもアジアにおいての平和的な友情をつくっていききたいものです。

講師講演に引き続き、役員報告、委員会報告、同好会報告があり、中でも、地域活性委員会のパフォーマンスは爆笑の渦に包まれました。最後に協会歌を歌い閉会致しました。

取材 永石 直樹



《7月定時例会出席状況》

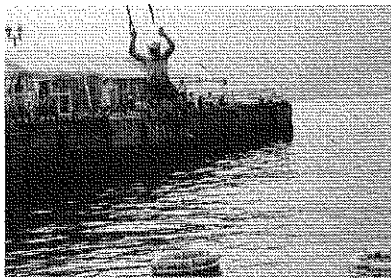
委員会	出席者/メンバー
役員	11/12
総務	4/8
例会	4/8
広報	8/9
研修開発	6/9
交流	5/8
地域事業	4/11
地域活性	7/11
渉外	4/9
社会福祉	4/9
企画	2/7
事務局	0/1
合計	59/102

《8月全体研修開催案内》

日時	8月30日（土）、31日（日）
場所	イオス（稲佐山中腹）
集合時間	午後6時30分
参加費	6000円（予定）
研修テーマ	健康について

（注）なお全体研修内で、ミニ例会も開催されます。

ながさきみなとまつり '97 開催

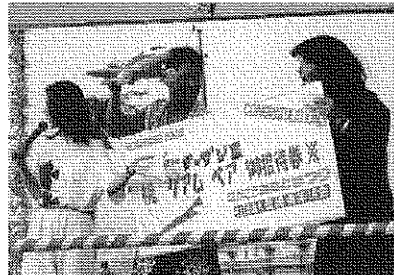


7月26日、台風の影響を受け、翌27日に延期となった「海上ターザンⅢ」。日頃の行いが良いせいか、天候に左右されながらも地域活性委員会を中心としたスタッフは、当日の早朝より設営、準備と慌ただしく動き廻っていました。ペーロンの参加もあり、同時進行しながらの中で今回の「海上ターザンⅢ」は開催されました。参加者も若干少なくなりましたが、各チームいろいろな衣装に身を包み、それぞれのアイデアを凝らして次々とジャンプしてゆきました。

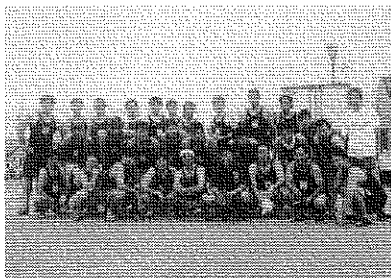
観客も海岸通の朽ちた棚まで近づき、MCから何度も注意を受けながらも競技を熱心に見守っていました。

そして初めての試みとして、観客参加型の優勝者当てクイズの企画もあり、多くの人が投票し、最終的には10数組にもあがり、当選者には大変喜ばれました。

また、優勝者は逆転で「もじもじ君」チーム。激戦の中表彰台に登られたお二人は、子供さん声援のもと実力を発揮され「ゲーム旅行」を獲得されました。担当委員会をはじめ多くの会員の皆さん、本当にご苦労様でした。



ペーロン競争



今年もまた、みなとまつりのイベントの中で我が青年協会ペーロンチームが職域の部において参加しました。

今回は、会員年齢によって2組に分けてレースに臨みました。これは互いの競争意識を高めることによって、他チームに肉薄しようとする作戦だったのですが、結果は、昨年よりも若干タイムを縮める事が出来ました。

毎年参加するイベントではありますが、いかんせん練習不足の感はいなめません！来年は出場するからには今年より一歩上を目指して頑張りましょう！

ペーロンのまとめ役をされた、西口室長をはじめ高下君、廣川君いろいろ大変でしたがご苦労様でした。そして、ペーロン船で一生懸命漕がれた選手の皆さん本当にお疲れ様でした。



取材 松尾

『ふれあいクルーズ』を終えて

会員のみなさま、「みなとまつり」お疲れ様でした。わたくしたち渉外委員会は、長崎ネットワーク市民の会での「飛帆クルーズ」を担当いたしました。このクルーズの内、青年協会として社会福祉委員会と共同で企画・運営しました「ふれあいクルーズ」(福祉クルーズ)について報告いたします。当日は福祉関係の2団体を招待していましたが、軽度障害者施設より天候不順のため今回はご遠慮させて頂きたい旨の連絡が入り、登校拒否児童のグループ約20名と、急遽当日募集した一般市民との乗船となりましたが、参加者全員で楽しい時間を過ごせました。ビンゴゲーム、ジャンケンマンを買って出で場を盛り上げてくれた平田君、病院を休日にして出席した村岡君、下準備に奔走してくれた大石君また問い合わせの電話番号で半日事務局待機した山室君以下委員会のメンバーと社会福祉委員会の皆さん、ありがとうございました。

渉外委員会 増崎進一



『サマーキャンプ '97開催』



夏休みの初日、7月20～21日と、青少年育成事業、第1弾、サマーキャンプ'97が開催されました。

朝8時30分の受け付けから応募された子供達がぞくぞくとポートパークに集り、各班に分かれました。

岩満室長の開会挨拶後、全員が飛帆に乗り込み、船上でロープワークをしながら最初の目的地伊王島へを向いました。

伊王島では、地元の子供達とエールの交換を行い、田川教育長さんの俊寛和尚についての講話を受け、昼食を取りました。さすがに子供達は同年代という事もあり、すぐに打ち解けていました。伊王島出発の際には、多くの方に見送って頂き、宿泊予定地のサンセットマリーナへと向いました。途中、飛帆の清掃を行いました。スタッフの散水に悲鳴を上げながらも各自が楽しく、一生懸命甲板の清掃をやりながら宿泊地に到着しました。サンセットマリーナではテント張りや海に親しむイベント、自炊、夜のキャンプファイヤ等で終始盛り上がっていました。中には就寝時間を過ぎて騒いでいる、やんちゃな者もあり、スタッフから大声で注意を受けている子供もいました。

最終日は、早朝より起きだした子供達に目を覚まされ、ラジオ体操、朝食そしてペーロンの体験、イベント等、スケジュールを消化し、閉村式を行い、ポートパークへと向いました。船上では、いろいろな所から集まった子供達が友情を深めあう様子や、疲れて眠っている者とか、さまざまな模様を見ながら子供達の真っ黒に陽焼した顔を見て、来年もこのような企画を続けていかなければと思いました。

今回の事業に携わったスタッフ、班長そして社会福祉委員会の皆さん大変お疲れ様でした。

取材 松尾



突撃！夕食おじゃま虫



皆様からも大変ご好評をいただいております「突撃！夕食おじゃま虫」も4回目となりました。今回おじゃまさせていただいたのは、総務委員長の前田哲也君のお宅です。

前田君ご夫婦は、共働きということで、お忙しい中時間を調整してお伺いしました。

さて、奥様の美希子さんの今夜のご献立は、うなぎとゴボウ、タマネギを卵でとじたうなぎの柳川鍋風盛り合わせ、バンバンジー、えび、たこ、ホタテと野菜で作ったシーフードサラダ、奥様と手作りぎょうざ、そして枝豆と色鮮やかに食卓に並び、ビールをいただきながらごちそうになりました。

美希子さんは、音楽の先生（ピアノ）ということもあり、どの料理も味付けがとても繊細で奥が深く絶品だと感じました。ご主人の前田君は、仕事が忙しくて週に2回くらいしかご自宅で食事をされないということもあり、その分健康管理をちゃんと考えた献立をつくっていらっしゃる、今夜もスタミナがつくうなぎとあっさりしたバンバンジーとシーフードサラダという食欲がでるバランスのとれた献立でした。最後にくずきりのお吸い物と果物をいただきましたが、感心したのは料理の味付けだけではなく、料理に合わせた器（食器）の色使いも大変すばらしく、あまりのおいしさに取材も忘れていた程でした。

今年の前田君は、ダンベル体操で8kg痩せるのが目標とのことですので、奥様も充分にご主人の健康を考えて目標を達成してほしいものです。

最後に、当日は、たいへんおいしい夕食を頂戴しありがとうございました。

取材：吉田、吉野



『友達の輪……「言いたい放題」』



井手清治君



田川清浩君

今回の友達の輪は、井手君からの紹介で、社会福祉委員会の田川清浩君の登場です。入会して1年半の私が、協会内でも「古株」の部類に属する田川君を紹介するのも何なのですが、彼は私とは高校時代3年間同じクラスでした。あの頃はよく蹴られていて、今でも恐怖感があるので、なるべく近寄らない様に又、目を合わせない様にしています。

聞き手：吉田浩文（広報委員会）

Q：田川君の性格は？

A：大勢の中では、あまり目立たなくておとなしい感じもしますが、少人数になると意見も言うし、自分の考えに対しては頑固に押し通す面もあります。

Q：田川君の人柄は？

A：高校卒業時のクラス会の幹事をしており、あまりクラス会は行なわれませんが、行なわれた時はよく人が集まります。彼の人柄はその事からも想像出来ると思います。

Q：田川君に望む事は？

A：協会内ではベテランの中に入るので、これからはもっともっと目立って活動して下さい。それと、あまりいじめないで下さい。

「奥様必見！ 生活向上のアイテム」

今月のテーマ……「美味しいお酒の選び方」

解説：木屋 祐 輔

ひと口に日本酒と言っても、全国に2,000程の蔵が存在します。そして1つの蔵に多い所では、数十もの銘柄を持っているお蔵もあります。

そこで私の考える美味しいお酒の選び方を紹介しましょう。

まずは、TV等で、CM等をやっている大手メーカーの酒は避けた方が賢明でしょう。

これらのメーカーの普通酒（昔の1級酒）等は飲んでみると確かにまずい！ウイスキーメーカー等にも言える事ですが、広告宣伝費等にお金を使いすぎて、肝心の中身が疎かになってしまっているのです。

逆に一生懸命、真面目な酒造りをやっているお蔵さんの中にはカタログさえ作っていない所もあります。何故かと言うと、カタログを作る費用があればより良いお酒を造りたいと、酒造りにお金を使っているのです。

そして、そんなお蔵さんの殆どが卸問屋を通さず、酒屋に直接お酒を送っています。

これにも意味があります。まず1つは品質管理の問題で卸屋等では、平気で直射日光が当たる所に置いてあったりします。

良識ある酒屋では店舗でも倉庫でもきちんと冷蔵管理をして、照明もダウンライトにしたり、リーチンの蛍光灯は消したりと気を使っています。

特に、大吟醸とか純米酒等の特定名称酒は、冷蔵管理が不可欠です。（因に当店では店舗で4面リーチン、倉庫では2.5坪の酒専用冷蔵庫で常に±0前後で管理しています。）

1番のポイントは酒屋の店主が日本酒の事を本当に知っているか。

2番目は、ちゃんとした品質管理が出来ているか。

3番目は、利き酒が出来るか。

この3つのポイントをクリア出来ているお店でお酒を求めれば、必ずや美味しい日本酒に出会えるでしょう。

『青年協会独身者大図鑑 (誰かいい人いませんか?)』 No.3

今回登場する独身会員は、協会3藤トリオの一人仁藤和彦君です。ホテルマンであります彼のユニークな人柄がわかる質問内容になっております。

<質問内容>

1. 生年月日、血液型、身長、体重、年齢
2. 職業
3. 好きな女性のタイプ、有名人に例えると
4. 自分の性格を一言で
5. いますぐ結婚したいか
6. 子供は何人欲しい
7. もし宝くじ(1億5千万円)当たったら
8. もし生まれ変われるとしたら
9. 自分と付き合うと特権は何
10. 結婚について貴方の考えは
11. 一つだけ願いが叶うとしたら
12. ファーストデートはどこに行きたい



1. S39.2.13生 B型 173cm 88kg 33歳
2. ホテルグリーンコースト長崎
3. ぼつちやりで笑うと口元が「キュッ」と上にむく人 (TBSアナウンサー進藤晶子)
4. がさつ
5. その気になれば
6. 作る行為が好き
7. オーロラを見に行きたい
8. 髪の毛の多い自分に生まれ変わりたい
9. そのようなものは期待しないように!
10. 男は結婚をしてないと社会的に認められないのでしょうか?
11. 宇宙に行き地球を見てみたい!
12. スペースワールド

「新 人 紹 介」



平井 雅臣 君
 生年月日：昭和45年 5月24日生
 歳・血液型：27歳 O型
 勤務先：(有)マイティスパロウ
 趣味：釣り・ワイン
 自己PR：物事に熱中しやすい性格です



安野 信博 君
 生年月日：昭和43年12月12日生
 歳・血液型：28歳 不明
 勤務先：(有)安野商会
 趣味：スポーツ (野球)
 自己PR：元気はあります

お誕生おめでとう!



増崎 進一君 (第3子・次男)
 名前：淑伸 (としのぶ) 君
 誕生：平成9年6月26日
 体重：2,304g
 父より：小さく生まれて、大きく育ててほしい。



楠田 壽幸君 (第子・児)
 名前：純香 (すみか) ちゃん
 誕生：平成9年7月2日
 体重：3,120g
 父より：父のように、りっぱな大人になって下さい。

編集後記

毎年、7月となれば大きな事業が本番となり、担当委員会はもちろん多くの会員が声をからし、大粒の汗を流しながら動きまわっている姿を見るにつけ、本当に協会員の一体感を感じさせてくれる。「何でこんな事を」と準備段階では思っている、いざやりだすと昔のCMではないが、止まらない。

事業が終りテント前での打上げ、暑いのどを通り、五臓六腑にしみわたるビール! やっぱりこれだ! この感覚がたまらない。また来年も同じ事をやっているだろうと、一人笑い。